

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	特定疾患等患者支援等経費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	疾病対策課		疾病対策課 田原 克志		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等を充実させること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	難病患者サポート事業の実施について				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	患者の不安やストレスを解消するための精神的、心理的サポートを行う様々な事業を実施する。自立した患者団体の育成を目的に経営マネジメントや運営管理の研修等を実施し、患者の支援を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①患者(相談)支援事業 患者(相談)支援ネットワークの構築、患者相談事業、管理研修等を通じて支援。 ②患者活動支援事業 国内研究会の開催支援、一般向けフォーラム等の開催支援、患者団体等との交流に対する支援。 ③調査・記録事業 患者・患者家族の体験談・療養経験をデータベース・テキスト化							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	/	20	20	18	24	
		補正予算	/	/	/	/	/	
		繰越し等	/	/	/	/	/	
	計	/	20	20	18	24		
	執行額	/	20	20	/	/		
執行率(%)	/	100%	100%	/	/			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	患者団体の自立のための支援を行うことによる難病患者の生活等の支援		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	難病の患者団体の育成		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
					-	-	-	-
単位当たりコスト	-(円/)		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	委託費	18	24	事業内容の充実強化のため				
計	18	24						

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	患者団体の資金力だけでは、事業目的を達成することは困難なため、国費を投入していく必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	患者団体を支援する事業であり、国による実施が妥当である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	患者及び患者団体をサポートするための事業であり、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	患者や患者団体の支援をするための事業であり、事業内容も審査する必要があることから、公募としている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	患者や患者団体支援に関する経費のみを委託費の対象としており、真に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	難病患者やその家族等をサポートするための事業に対して必要な委託費であり、平成24年度においてもフォーラムの開催支援等をしてきたことから、今後も継続していく必要がある。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	難病患者家族間のネットワーク構築や研修会の開催等により、難病患者及びその家族への支援を行うための事業であるが、事業の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行に努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	163	平成23年	140	平成24年	113

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
20百万円



【公募・委託】

A 一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会 20百万円

- ・難病患者相談事業
- ・患者支援ネットワーク事業

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
謝金	企画・運営・評価委員等謝金	1			
旅費	全国難病センター研究会委員等旅費	3			
消耗品費	文具等	0.1			
印刷製本費	ニュースレター等印刷製本費	2			
通信運搬費	資料等発送費	0.2			
借料・損料	全国難病センター研究会会場借料	3			
賃金	相談員等賃金	10			
雑役務費	患者交流会参加料等	1			
計		20	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会	難病患者サポート事業の実施	20	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					